

もっと!!

5 Lesson design tips for developing self-directed learners

自律した学習者が育つ授業設計の5つのコツ

その①

Have students identify a problem.

現実に関わりそうな課題に
挑戦させる!



- ① 現実世界で起こりそうな問題解決に学習者を引き込む。
- ② 授業を受けることでどのような問題が解決できるようになるのかを示す。
- ③ 解決すべき問題を徐々に難しくして何度もチャレンジさせ、問題同士で何が違うのかを明らかにする。

その②

Have them use their knowledge and skills.

すでに知っている知識を
動員させる!



- ① これまでの知識や経験をフル動員させる。
- ② 新しく学ぶ知識の基礎になりそうな過去の経験から得た知識を思い出させ、関連づけ、記述させ、応用させるようにする。
- ③ 学習者がすでに知っている知識やスキルを使う機会を与える。

その③

Don't tell them, show them how.

例示がある!



- ① 新しく学ぶことを単に情報として「伝える」のではなく「例示」する。
- ② 一般論ではなく事例を中心に提示する。
- ③ 適切なガイダンス（指針）を学習者に与える。
- ④ メディアに教授上の意味を持たせて適切に活用する。

その④

Give them a chance to apply what they learned.

応用するチャンスがある!



- ① 新しく学んだ知識やスキルを使うような問題解決を学習者にさせる。
- ② 例示した後の応用するチャンスを用意する。
- ③ 練習のチャンスには必ずフィードバックを行い、適切なアドバイスや間違いの指摘をする。
- ④ 徐々に援助の手を少なくしていく。
- ⑤ 応用（練習）と事後テストをあらかじめ記述された（あるいは暗示された）学習目標と合致させる。

その⑤

Apply the new knowledge and skills in a real situation.

現場で活用し、振り返り、統合する!



- ① 授業の成果を現場で活用し、その成果を省察する機会がある。
- ② 学習者が新しい知識やスキルを日常生活の中に統合（転移）することを奨励する。
- ③ 学習者が新しい知識やスキルをみんなの前でデモンストレーションする機会を与える。
- ④ 学習者が新しい知識やスキルについて振り返り、話し合いをする機会を与える。
- ⑤ 学習者が新しい知識やスキルの使い方について自分なりのアイデアを考え、探索し、創出するように仕向ける。